

授業科目 リハビリテーション医学

【担当教員名】 真柄 彰		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【一般目標：GI0】 リハビリテーション医学の対象となる代表的な疾患・外傷を通じて、リハビリテーション医学の特質である障害学、基本的な診断学、治療学について学習する。障害に対応するための家庭・社会的環境の評価法とその改善のアプローチを学習する。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 代表的な疾患や外傷について生理学・運動学・高次脳機能学・障害者の心理などの障害に関する機序を理解する。 具体的な治療内容について説明できるようになる。 障害に対応するための機能障害・能力低下・家庭・社会的環境の評価法とその改善のアプローチを説明できるようになる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳卒中のリハビリテーション（1）			1,2	講義
2	脳卒中のリハビリテーション（2）			2,3	講義
3	機能評価（ROM）			3	講義
4	脊髄損傷のリハビリテーション（1）			1,2	講義
5	脊髄損傷のリハビリテーション（2）			2,3	講義
6	能力評価（FIM）			3	講義
7	パーキンソン病のリハビリテーション			1,2,3	講義
8	神経筋疾患のリハビリテーション（1）（ALS MS）			1,2,3	講義
9	脳性麻痺のリハビリテーション			1,2,3	講義
10	心筋梗塞のリハビリテーション			1,2,3	講義
11	呼吸器疾患のリハビリテーション			1,2,3	講義
12	摂食・嚥下障害のリハビリテーション			1,2,3	講義
13	神経筋疾患のリハビリテーション（2）（筋ジス ギランバレ）			1,2,3	講義
14	下肢切断のリハビリテーション			1,2,3	講義
15	上肢切断と義手 筋電義手			1,2,3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		リハビリテーション総論	椿原彰夫	診断と治療社	2011・3,600円＋税
参考書		リハビリテーション概論・リハビリテーション医学レジュメ集	真柄 彰		2010・600円
その他の資料		ポータルサイトに参考ファイルを提示する			
【評価方法】 出席 15%程度 定期試験 85%程度			【履修上の留意点】 予習復習にこころがけること		